

セキュリティ産業新聞

発行所
株式会社 セキュリティ産業新聞社

〒101-0051
東京都千代田区神田神保町
1-41-1 三省堂第2ビル5階
電話 03-5282-8882(代)
FAX 03-5282-8992
E-mail:mitu@secu354.co.jp
http://www.sec354.co.jp/

(1) 2004年(平成16年)3月10日(水)

対受傍通信の初 試験認定工技策

21日実施

国内初となる通信傍受(盗聴防止)対策技士の資格認定試験を、今月21日に東京・科学技術館で行う。

通信傍受対策技士とは、NPO法人日本情報漏洩管理協会(東京都港区、岩崎宇雄理事長、TEL 03・5765・7677)が、情報取扱いに対し十分なモラルと技術力を持つと認定した者に与える資格。今回は同技士二種の養成講習と資格認定試験を実施。受講は約30名で、7割が電波通信を取扱う専門者で、3割が一般。

講習内容は(1)通信傍受対策技士二種の社会的役割、(2)盗聴に関する社会的被害、(3)電波に関する基礎知識、(4)盗聴器に関する基礎知識、(5)盗聴器の種類、(6)一般的な調査方法、(7)関連法令などについて。

試験内容は知識、実技、面接の3区分から7科目の筆記、実技試験および面接を実施。知識は「情報安全管理士」、盗聴の基礎知識(電波に関する基礎知識)、調査方法、関連法令・関連規格の4項目。実技は調査の準備、発見方法、アフターフォローの3項目。併せて集団面接が行われる。

同協会は、情報セキュリティの認識を高め、情報漏洩から企業や個人を守ることを課題として活動。服務規程とは別に定めた7項目にわたる倫理宣言も設けている。一昨年8月の設立以来、情報漏洩や企業従業員向けのセミナーなど情報セキュリティの啓蒙・啓発活動を行ってきた。今回の認定試験もその活動の一環だ。

同協会では一種の認定試験についても今夏に実施予定。

将来的には警察庁や全国防犯協会連合と協力して、一種以上の有資格者を全国の各ブロックに派遣し、暴力団や総会屋対策の展開も計画している。